TAMWOOD
CAMPS

# 2025年
# TAMWOOD 国際サマーキャンプ

## よくある質問とその回答

バンクーバー
（SFU・UBC）
トロント
ロスアンゼルス
サンフランシスコ
ニューヨーク

# 目次

**概要** ..... 3

**開催地の特徴** ..... 4

**キャンプ開催日程** ..... 5

**FAQ** ..... 6

- カウンセラー(指導員)について
- 寮生活について
- セルフ・アレンジについて
- ESL (英語)の学習について
- アクティビティについて
- 食事や怪我・病気などの健康管理について
- 気候について
- カナダ渡航情報について
- 現金・貴重品の管理について
- その他
- 保護者の皆様へ

**国籍比率** ..... 16

# WHY Tamwood?

私たちのキャンプが選ばれる理由

- 1993年からキャンプを毎年開催している自信とノウハウがあります。毎年約2000人の子供たちが参加しています。 2017年と2019年には、STM Award（留学業界のアカデミー賞）にて、18歳以下のコースで世界No.1に選ばれています。
- リピーターが多く、世界30カ国以上から子供たちが参加します。
- 資格を持った経験豊かなESL講師陣が週に15時間、英語の講義をします。
- アクティビティは毎日１～２種類、遠足は週２回予定しています。内容も数も豊富に提供し、 様々な体験を通して子供たちが英語をより多く話す機会を持つことで、子供たちの成長を促します。
- ベテランのカウンセラー（毎年サマーキャンプで働いているスタッフ）が数多く在籍しています。
- 参加者は少人数グループに分かれ、トレーニングを受けたカウンセラーたちが24時間常駐しています。
- 安全に配慮した運営：全カウンセラーはFirst Aidの資格を取得しており、Health Attendantも滞在します。

# 開催地の特徴

## バンクーバー：

世界で一番住みやすい街に選ばれるバンクーバーでは海と山に囲まれた街で自然と都市生活が調和したカナダ西海岸ならではの生活を体験できます。
今年はサイモンフレイザー大学に加え、ブリティッシュコロンビア大学が会場に加わりました。

## トロント：

カナダ最大の都市トロントはイギリス文化が色濃く残る歴史ある大都市です。 カナダ文化の中心でもあり、有名なナイアガラの滝やCNタワー、MLB観戦などアクティビティや遠足もたくさん用意しています。トロント大学ミシサガ校の寮と施設を利用します。

## ロスアンゼルス：

アメリカを代表する名門校、UCLAの寮や施設を利用します。 日本では体験できない、アメリカのマンモス大学の生活を体験できます。ハリウッドやディズニーランドなどの世界的に有名な観光地にも遠足で出かけます。

## ニューヨーク：

芸術とエンターテイメントの街、世界最大級の都市ニューヨーク。夢と刺激を求めて世界中から多くの人々が集まる街で、多様な文化を体験することができます。200年近い歴史を持つ伝統校フォーダム大学ブロンクスキャンパスにある寮と施設を利用します。

## サンフランシスコ：

サンフランシスコはアメリカの工業と経済を支える大都市です。特にITを中心としたスタートアップ・起業の街で、シリコンバレーも近く、Sales ForceなどIT企業が多くあります。1855年設立のサンフランシスコを代表する伝統校、サンフランシスコ大学を利用します。

# キャンプ日程 etc

バンクーバー（SFU）ロスアンゼルス：6月29日から8月17日

バンクーバー（UBC）トロント：6月29日から8月10日

サンフランシスコ：6月29日から8月3日

ニューヨーク：6月29日から7月27日

※最初の到着日と最終の出発日となります。毎週日曜日に到着・出発となります。

※1週間から参加可能

※2025年4月時点で小学1年生の6歳、高校3年生の18歳の生徒も参加可能

| | SFU<br>バンクーバー | UBC<br>バンクーバー | トロント | ロスアンゼルス | ニューヨーク | サンフランシスコ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Youth<br>(7-10歳) | ✓ | | ✓ | ✓ | | ✓ |
| Juniors<br>(11-14歳) | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| Seniors<br>(15-17歳) | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |

# FAQ – タムウッド・サマーキャンプ–

## カウンセラー（指導員）について

### Q. カウンセラーはどのような人たちですか？

A. タムウッドのカウンセラーは２種類に分かれます。キャンプの指揮・運営を担当するシニアスタッフと、生徒達と一緒に生活•行動する一般カウンセラーです。タムウッドのサマーキャンプは30年の歴史がありますので、シニアスタッフの中には大学生のときにタムウッドキャンプの一般カウンセラーを経験し、現在は公立学校などで学校の先生として働いている人たちも多くいます。一般カウンセラーは教員を目指す大学生が多く、またスポーツのインストラクターや学校の先生もいます。全てのカウンセラーは、北米の学校で働く人が職場へ提出するのと同じように、犯罪履歴証明書と医療証明書をタムウッドへ提出しています。また、ファーストエイド（緊急応急処置）の資格を全てのカウンセラーが所持しています。
彼らの他に専任の看護担当が生徒と同じ寮に宿泊し、アクティビティに引率します。

### Q. カウンセラーの仕事は？

A. 一般のカウンセラーが担当のカウンセラー•グループ (日本の学校の生活班) を指導・ケアします。起床から就寝まで生徒達へ注意を注ぐとともに、仲の良い友達として生活します。生活の悩みについても相談にのってくれます。
シニアスタッフはキャンプ運営とともに、一般カウンセラーへの指導を行うのが仕事となります。シニアスタッフの中には一般の学校の校長先生のように、生徒指導をするキャンプ•ディレクターもいます。彼らは毎朝生徒が起床する前から、その日の打ち合わせをし、注意を払うべき生徒やその日の予定・懸念事項等を話し合います。

### Q. 日本語を話すカウンセラーについて

A. 日本語を話すカウンセラーはおりますが、日本人専用カウンセラーではありません。
日本人カウンセラーも担当しているグループ全体のカウンセラーとして共に行動し、どうしても日本語で対応しなくてはいけない場合にサポートをします。

### Q. 夜中に子供が目を覚ましてしまった場合、カウンセラーは対応してくれますか？

A. もちろんです。カウンセラーは各自受け持ちのグループと同じ寮に滞在しますので、何かあった時にはすぐに対応が可能です。（カウンセラー達も休む必要があるので、一人で寝れるようにしてから参加してください）

### Q. サマーキャンプにはルールがありますか？

A. サマーキャンプにも日本の学校の校則のようにルールがあります。
特に色々な国から参加者がいるので、お互いに尊重しあい、英語で話をすることなどのルールがあります。ルールについては、出発前手引きに説明がある他、現地でもカウンセラーが生徒たちへ到着時に指導します。
ルールに従えない場合、退去帰国を求められる場合があります。

# 寮生活について

## Q. 各キャンプ到着後、最初に何が行われるのですか？

A. インテイク (キャンプ到着手続き) を行います。インテイクでは、寮の部屋の鍵、TAMWOODロゴ入りＴシャツ(キャンプから外出する際やアクティビティなど、必要な時に着用) 、ランドリーバッグ、IDカードを受け取り、Health Formのチェックを行います。その後、バンキング(キャンプ内の銀行システム) にてパスポート・必要のない現金・航空券等の貴重品、デポジット$150（現金）を個別に預けます。全てのインテイク終了後、担当カウンセラーが各自の部屋へと案内します。各自の部屋に入ったら夕食まで自由時間です。荷物の整理をしたり、休憩をとることができます。もちろん外で遊ぶことも可能です。

## Q. カウンセラーグループはどのように決められるのですか？

A. グループは大きく「ジュニア（7～10歳）」「ユース（11～14歳）」「シニア（15～17歳）」の3つに分けられ、別々のスケジュールが組まれます。さらにその中でグループ分けがされます。(日本の学校の生活班をイメージしてください)
（カウンセラーグループと英語のクラスは別々の分け方です）

ジュニア： 1グループ最大生徒９人に対しカウンセラー1人
ユース： 1グループ最大生徒15人に対しカウンセラー1人
シニア： 1グループ最大生徒20人に対しカウンセラー1人

## Q. 通常の一日の流れは？

A. サンプル・スケジュールをご覧下さい。(英語授業は15時間/週、遠足は週に2回)
スケジュールはご利用の代理店へお問い合わせください。

Tamwood サマーキャンプ （ジュニア） スケジュール例 寮滞在の場合

Tamwood Summer Camp 2025

## Q. ランドリーサービスとは？

A. 週1回タムウッドが依頼している業者のランドリーサービスを利用することが出来ます。生徒は、初日に渡されたランドリーバッグへ洗濯物を入れ、カウンセラーに預けると洗濯されて翌日返却されます。ランドリーバッグには個別の番号が記載されていますので、それを覚えておく必要があります。皆さんには10日分の衣類を持ってくることをおすすめします。 （ランドリーサービスは滞在２週目より利用できるサービスです。1週間のみ滞在の方は対象になりません）

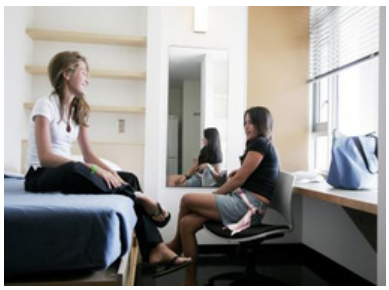
## Q. 初めての家族を離れての旅行ですが大丈夫でしょうか？

A. タムウッドでは1993年から世界中の子供を受け入れており、毎年子供達にはキャンプでの生活を楽しんでいただいています。家族から長期間離れ外国に滞在することが初めての子供がほとんどです。皆同じ気持ちですからすぐに友達を作ることができますし、最終日にはキャンプで出来た友達と別れるのが辛くて帰りたくないと言う子供がたくさんいます。渡航には航空会社スタッフの付き添い、UM (Unaccompanied Minors) と呼ばれる航空会社のサービスを利用する子供達もいます。(別途料金がかかります)

## Q. 寮ではどのような部屋で眠るのですか？

A. 子供達は用意されたベッドにて眠ります。ベッドには枕・シーツが備え付けられています。部屋は性別・年齢・国籍・各グループを考慮の上、割り当てられます。また、男女が一緒のフロアになることはありません。通常、部屋は特別の理由が無い限り変更することは出来ません。すべての施設でWi-fiが利用可能です。また、部屋割りの希望がある場合、申込時に提出が可能です。(100%保証はできかねますことをご了承ください)

個 室： SFU（バンクーバー）、トロント
個室もしくは2人部屋： UBC（バンクーバー）※ ほとんどが個室です
2人部屋： サンフランシスコ
2～3人相部屋： ロスアンゼルス、ニューヨーク



# セルフ・アレンジについて

現地にいる親戚や知人の家に滞在、もしくは家族でホテルなどに滞在し、デイ・キャンプ スタイルによる参加
（宿泊、食事、通学、空港送迎は含まれず、月曜日から土曜日までのDay Camp参加となります）
（施設環境からニューヨークではセルフ・アレンジでの参加は受けておりません。）

## Q. 一日の流れはどのようになるのですか？

A. 下記のスケジュールを参考にしてください。セルフ・アレンジの生徒は土曜日のタムウッド・ディスコを除いてナイトアクティビティへは参加できません。また、ディスコへ参加する場合には、保護者の許可また送迎が必要となります。通学は自分でしなくてはなりません。小学生など年齢によっては、保護者が毎日送り迎えをいただく必要があります。また、１日遠足の日には朝早く集合し、キャンプへ戻ってくることが遅くなる場合があります。現地スタッフと連絡を取り合う必要があるので、保護者はスマホを持ってくる必要があります。キャンプでのランチと１日遠足中の食事は参加料金に含まれます。

**Tamwood サマーキャンプ （ジュニア） スケジュール例 セルフアレンジの場合**

## Q. セルフ・アレンジの場合の通学はどうなりますか？帰宅時間は何時ごろですか？

**A.** 生徒は公共交通機関を利用して自費で通学します。金額は1 週間に40ドルくらいかかります。参加者は全員、名前とキャンプの緊急連絡先が記載されたネームカードを首から下げて行動します。万が一道に迷った場合でも、これを見せて助けを求めることができます。

年齢によっては保護者もしくは責任を持てる知人が生徒と一緒に通学する必要があります。

登校時と帰宅時にホームステイ担当のカウンセラーに必ず Check in / Check outし、ドームタイム(17時ごろ)までに帰宅をします。遠足などで帰りが遅くなる場合は保護者の送迎が必要です。

# ESL (英語) の学習について

## Q. ESLの授業について教えて下さい。

A. タムウッドはサマーキャンプの他にも、通年で語学学校をカナダで開校しており、ウィンターキャンプも開催しています。30年以上のキャンプとこうした毎日の経験から、英語が母国語ではない生徒への英語の教え方の知識と経験を積み、カリキュラムは改善を繰り返して作られています。 年齢グループ別に英語の授業やアクティビティのスケジュールが組まれ、英語が身に付きやすい ように工夫されています。

## Q. ESLの先生はどんな人たちですか？

A. タムウッド・キャンプの先生は、英語が母国語ではない生徒へ英語を教える資格を持った先生方です。カウンセラーのように公立学校の先生方も多く、普段から移民を含んだ国際的なクラスの運営をしており、英語の教え方までプロフェッショナルな方々が講師です。カウンセラーとは別の講師を用意しております。

## Q. ESLのクラス分けは？

A. 到着日の翌日に最初のESLクラスが行われます。初日はテストを受けます。この日のテストの結果によってレベル別にクラスが編成され、翌日よりクラスごとの授業が始まります。毎週土曜日にテストを受け現在の実力を知るとともに、結果によってはレベルアップも可能です。クラスの数は参加生徒の人数によって異なりますが、レベルは最大6つに分かれています。

## Q. 英語は殆ど話せませんが大丈夫ですか？

A. 世界各国から子供たちが集まります。アメリカやカナダの中学校や高校へ行けるような英語力を持っている生徒から、全く英語を知らない生徒まで参加しています。こうした環境で英語を学ぶことで、他の子供たちから刺激を受け、自分の英語に自信がついたり、意欲がわいたり、英語が好きになることを目指しています。アクティビティは遊びと捉えがちですが、英語のクラスで学んだことを、実際に楽しく実践する機会を多く提供するためのものです。キャンプ料金にはスケジュールに含まれる全ての交通費・入場料・食事等が含まれます。年齢グループ別、開催地ごとにスケジュールは異なります。

# アクティビティについて

## Q. 遠足には何が含まれていますか？

A. キャンプでは週に2回、1日遠足が提供されます（開催地によって異なる場合があります）。キャンプ料金にはスケジュールに含まれる全ての交通費・入場料・食事等が含まれます。年齢グループ別にスケジュールは異なります。ただし、日曜日のみ有料のオプショナルアクティビティを用意していること、遠足の自由時間などに予定されていないものへ子供たちの意思で参加する場合は料金に含まれないことをご注意ください。日曜日のオプショナル・アクティビティの種類と料金は各キャンプごとに別資料があります。有料のオプショナル・アクティビティはおよそ$50〜$200の料金がかかります。無料のアクティビティも用意されています。日曜日のオプショナル・アクティビティは現地発表、現地で現金支払いとなります。

## Q. 遠足ではどのような所に行くのですか？

A. バンクーバーでは、１日遠足でウィスラー・ビクトリア、グランビルアイランド・バンクーバー水族館等を訪れます。 トロントでは、ナイアガラの滝を見たり、CNタワー、水族館や博物館等を訪れます。 ロスアンゼルスではディズニーランド、MLB野球観戦や博物館などへ出かけます。ニューヨークでは、セントラルパークやタイムズスクエア、MLB野球観戦などが予定されています。週ごとの詳細スケジュールは既に発表していますので、代理店へお問い合わせください。

## Q. 遠足以外の毎日のアクティビティとは？

A. 平日行われるアクティビティです。ロケーションで異なりますが、カヤックやプール、ダンス、サッカーやバレーボールなどのスポーツ、図工のアクティビティもあり、STEMは理工系の考え方を取り入れたゲームとなります。タムウッドのキャンプでは1日に１〜2種類のこうしたアクティビティを予定しています。

※移動時間や交通事情、天候などからアクティビティが変更になる場合があります。

# 食事や怪我・病気などの健康管理について

## Q. どのような食事が出されるのですか？

A. 毎食違ったメニューです。メインディッシュにご飯、またはパン・サラダ・デザート・フルーツが基本的なスタイルです。飲み物はジュースと牛乳が中心となります。ただし、利用する大学によりメニューの種類には違いが出てきます。

## Q. アレルギーについて

A. アレルギーは**申込書を利用して英語で必ずご連絡**ください。特にエピペンを携行する必要のある参加者は医師からの英文書類を提出ください。現地スタッフはエピペンを子供たちの代わりに打つことができません。エピペンを必要としていて子供が自分で打つことができない場合は、必ず自分で対応できるようにしてから渡航参加ください。
殆どの食物アレルギーには対応できますが、対応できない場合は事前にご連絡することになります。医師に処方された常備薬も必ずご連絡ください。

## Q. もし子供が病気になった場合はどうなりますか？

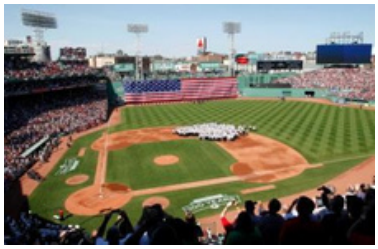
A. 全てのカウンセラーは緊急の応急処置 (First Aid)の資格取得が義務付けられており、トレーニングも受けています。
また各キャンプにはHealth Attendant(看護担当)が常駐しており緊急時に対応します。また全てのキャンプは救急病院まで車ですぐの所に位置しています。必要であれば日本語の話せるカウンセラーが、病状をHealth Attendantに、病院に行った際は医師に伝えます。
なお、風邪などの症状が軽い場合にはオンラインクリニックを利用するケースもあります。救急病棟で診断へ長い時間待つ必要がなく、子供たちへの負担が少ないためです。

# 気候について

## Q. 天候はどうですか？

A. 北米西海岸では一般的に日中は晴れて暖かく、夜になると気温が下がります。 日中は半袖で快適に過ごせますが、**朝と夜は肌寒く感じることもあるため上着を用意**した方が良いでしょう。また 夏は夜10時位まで明るく、紫外線量は日本と比べて約7倍といわれていますので、**日焼け止めは必ず持参**しましょう。ここ数年、気候変動により30℃を超える日がバンクーバーでもひと夏に3日～1週間ほどあります。短パ ン・Ｔシャツはお持ちください。北米東海岸は西海岸に比べ多少湿度があります。気温は日本のように高くなりませんが、日焼け対策や汗をかくことを考えて着替えのTシャツをすこし多めに持って来ると良いでしょう。**東海岸ではジーンズよりも短パンが必需品になります。**

バンクーバー: 平均24度（朝夕は13度まで下がることもあります）
ロスアンゼルス： 平均28度（朝夕は17度まで下がることもあります）
トロント： 平均27度（朝夕は17度まで下がることもあります）
ニューヨーク： 平均29度（朝夕は21度まで下がることもあります）



# カナダ・アメリカへの渡航情報について

### Q. 入国にビザは必要ですか？

A.日本国籍の方は、カナダの場合はeTA（６ヶ月以内の渡航）、アメリカの場合はESTA（90日以内の渡航）と呼ばれる電子渡航認証を取得する必要があります。事前にオンラインで申請してください。詳細は代理店へお尋ねください。

### Q. 一方の親、または単独渡航での出入国について

A.未成年の方が一方の親のみと、または単独で渡航される場合には、英文の渡航同意書(Consent Letter)をご用意されることをおすすめいたします。内容・形式について書式自由ですが、政府のウェブサイトや航空会社などでもテンプレートが提供されていたりします。詳細は代理店へお尋ねください。

# 現金、貴重品の管理について

### Q. バンキングとは何ですか？

A. バンキングとはキャンプ内の銀行システムのことです。キャンプ内では必要以上の現金を持たせないようにしています。現金とともにパスポートなどの貴重品もタムウッドで個別に管理します。これらは明細を取って、キャンプ内の金庫に保管されます。現金をどれくらい預けるかは子供たちに決めてもらいます。カウンセラーと相談して現金をいくら持ってアクティビティに行くかを決め、必要な金額を週に2回引き出すことができます。 (寮滞在者はダメージ・デポジットの＄150を現金で預けます。この金額は部屋などに損壊がなければ帰国日に返却されます。)

### Q. お小遣いはいくら位持たせればよいですか？またどのように管理するのですか？

A. タムウッドでは、1000から1500カナダドルくらいにしておくことをお奨めしています。全ての食事、日程に含まれる全てのアクティビティ、遠足にかかる費用は予め含まれています。 お小遣いは、お土産を買う、遠足の際に好きなおやつやジュースを買う、日曜日のオプションのアクティビティ等にかかる費用のために必要になります。クレジットカードは現金を少なくしたい場合や緊急用に持ってくる子もいます。現地では、日本円からドルへ両替する機会は全くないとお考えください。お小遣いについては、ご家庭でお子さんと話し合いの上、決めてきてください。

# その他

## Q. 空港でキャンプの参加者はどのように集合するのですか？

A. タムウッドのスタッフは乗客出口にてTAMWOODのロゴ入りの青色のＴシャツかポロシャツを着用し、「TAMWOOD CAMPS」の旗を持って子供達の到着を待っていますので簡単に見つけることが出来ます。出発前にお送りする「出発前の手引き」もご覧下さい。

空港送迎の様子の動画はこちら
https://www.youtube.com/watch?v=OPwuDnYvMvk)

## Q. 指定フライト以外の追加料金は発生しますか？

A. 日曜日8AM～10PM発着以外のフライトの場合$175/片道が発生します。基本的に日本人向けのフライトでは該当はありません。

## Q. 国籍比率はどのようになっていますか？

A. 参考までに、このQ&Aの最後にある2022年度・2023年度のグラフをご覧ください。 グラフはひと夏の参加者を国別で表したものです。日本に比べ他の国では夏休みが始まるのが早いため、日本人よりも早くキャンプへ参加します。実際の国籍割合は、7月中旬までは日本人が少なく、8月は日本人比率がやや多めになります。(毎週の国籍比率もありますので旅行代理店、留学エージェントへお問い合わせください。)

# 保護者の皆様へ

ここでは毎年キャンプ期間中に保護者の皆様からいただく代表的な質問へのQ&Aをまとめてみました。是非、参考にしていただければと存じます。

## Q. 子供が電話で泣いているのですが、どうしたら良いでしょうか？
## Q. 子供の携帯からメールを受け取ったのですが心配です。何かあったのでしょうか？

A. どの国からの生徒もお母さんや家族と話す際に、感情的になって泣いてしまう子も多く存在します。これは人間として、特に子供にしてみれば当然のことです。そして、子供達の中には感情が昂ぶり「帰りたい」とお母さんたちへ言う子達もいます。ところが、そうした子供達でも電話が終わって２、３分もしないうちに笑って元気に友達と遊んでいることがほとんどです。数週間滞在している中で、突然このようなことが起こる場合もあります。

日本から遠く離れた場所へ子供だけを送っていること、子供の英語力や友達関係などの社会適応力への心配から、感情的になられる保護者の方が多いのは当然のことです。ただ、まずは保護者の方が感情的にならず、お子さんを電話口で励ましていただければと存じます。
タムウッドのキャンプでは、多くの国から子供達が集まり、アクティビティや英語の授業を通して共同生活をし、子供達が成長していくプログラムです。だからこそ、毎年キャンプに帰ってくる子供達も大勢います。
また、寮滞在の場合、担当カウンセラーが子供達と同じ寮に滞在し、子供達をケアしていることも忘れないで下さい。何かお子さんに変わったことがあれば、すぐに弊社からご連絡します。

ネット社会となり、世界中どこにいてもいつでもメールだけではなくLINEやFacetimeなどで簡単に連絡が取れるようになったことは素晴らしいことですが、だからこそお子さんが気弱になっている時は家族の方々から励ましてあげてください。
極端に短いメールを受け取り、その情報があまりにも簡潔で逆に保護者の方々の心配の元になっていることが近年多くあります。間違った情報や勘違いの元になってしまっている残念なケースも起こっています。
また、日本でも実現できないことへ強い願望を持って参加される子供達が時々います。例えば、最初の２日間で自然にたくさん友達ができると期待し、この時に保護者が同情してしまうと現地スタッフによる子供達へのサポートが非常に困難になってしまいます。

もしどうしても心配な場合は、まずは保護者の方が落ち着かれてから、お子さんへ連絡されることをお奨めします。また、弊社代理店を利用されている方はそちらへも相談していただければと存じます。代理店の方々は、こうしたプログラムのプロであり、たくさんの日本人生徒をキャンプへ送った経験を持っています。

## Q.ホームシックにかかっています。何とかしてもらえますか？

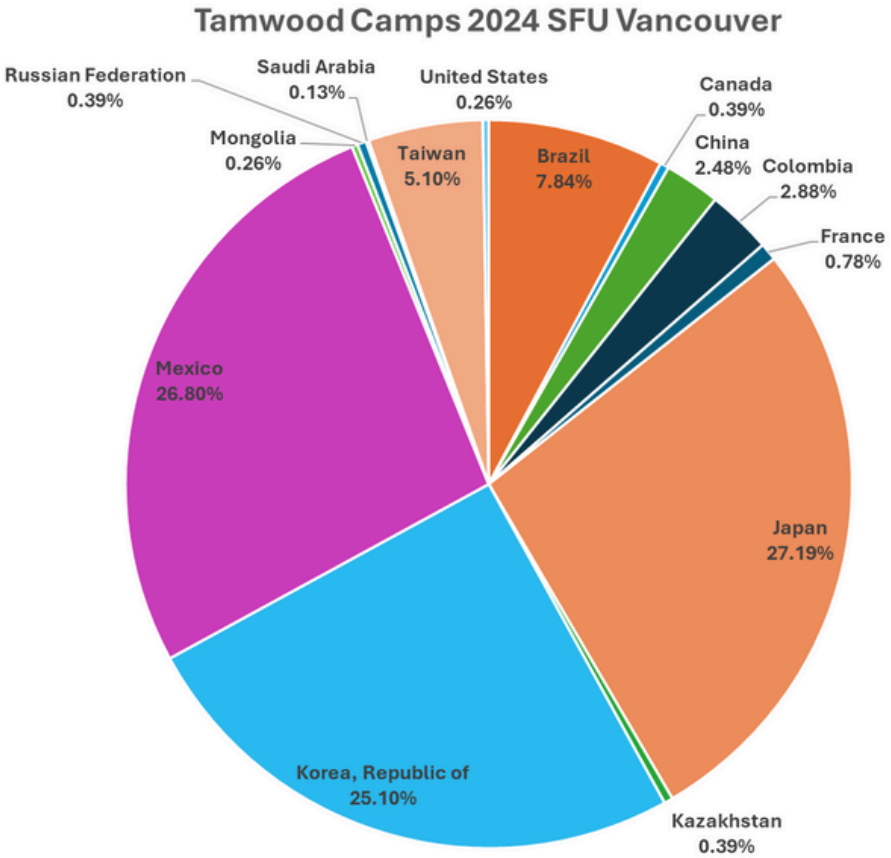
A. ホームシックに本当にかかっているのか、単なる体調不良で気分がすぐれないのか、先ずタムウッドのスタッフがお子さんの様子を見ます。ホームシックだと決めつけて対応してしまうと、そうではない場合に逆効果になる場合があるからです。また、子供達の中には親から弊社へ連絡があったことを非常に気にする子がいますので、そうしたことも考慮に入れながら対応していきます。
ホームシックにかかっている場合は、もちろん早急に対応します。弊社はサマーキャンプ会社として始まり、30年以上の歴史とノウハウを持ったプロフェッショナルです。子供達の出身国の文化も考慮して対応させていただきます。各キャンプには日本人のカウンセラーもいます。子供達が何に悩んでいるのかをヒアリングし、どうしたら解決できるのかを日本語でアドバイスし、キャンプ生活へ慣れていくように指導していきます。

## Q. 子供から全く連絡がありません。ちゃんと生活しているのでしょうか？

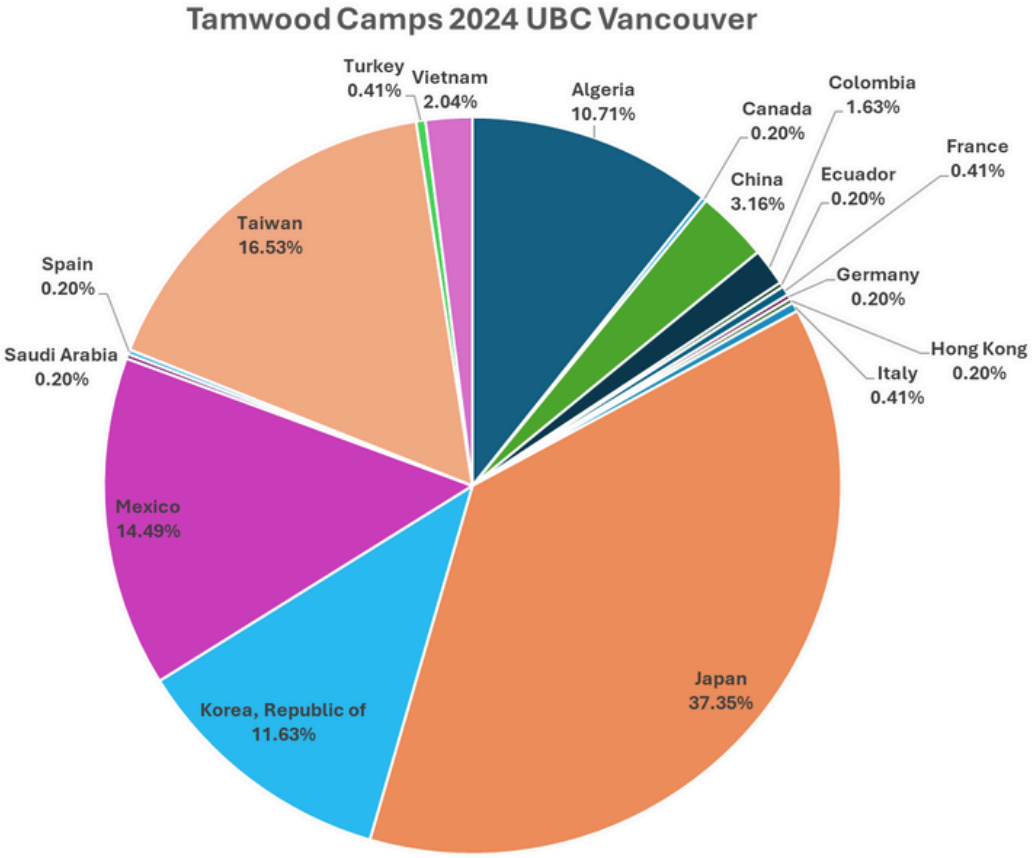
A. 実はこれが最も安心できる状態であることが多いです。毎日を楽しむことに忙しく、連絡をしない子が多いのです。タムウッドのスタッフが手を引いて電話まで連れて行かないと電話しない子供たちが多く、逆に毎年悩まされています。ご連絡いただいた場合、お子さんへご家族に連絡するように指導しますのでご安心ください。

# 2024年度参加者の国籍比率

## バンクーバー・SFU

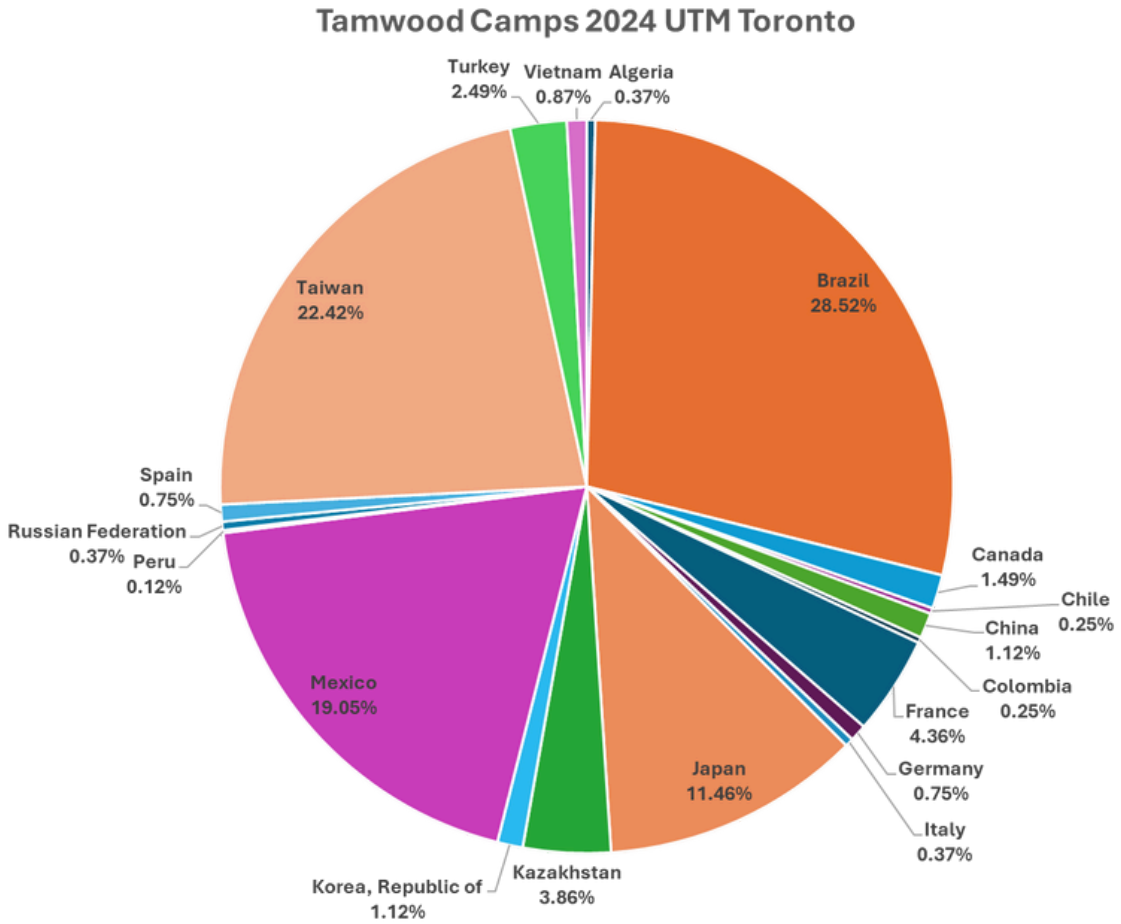



## バンクーバー・UBC

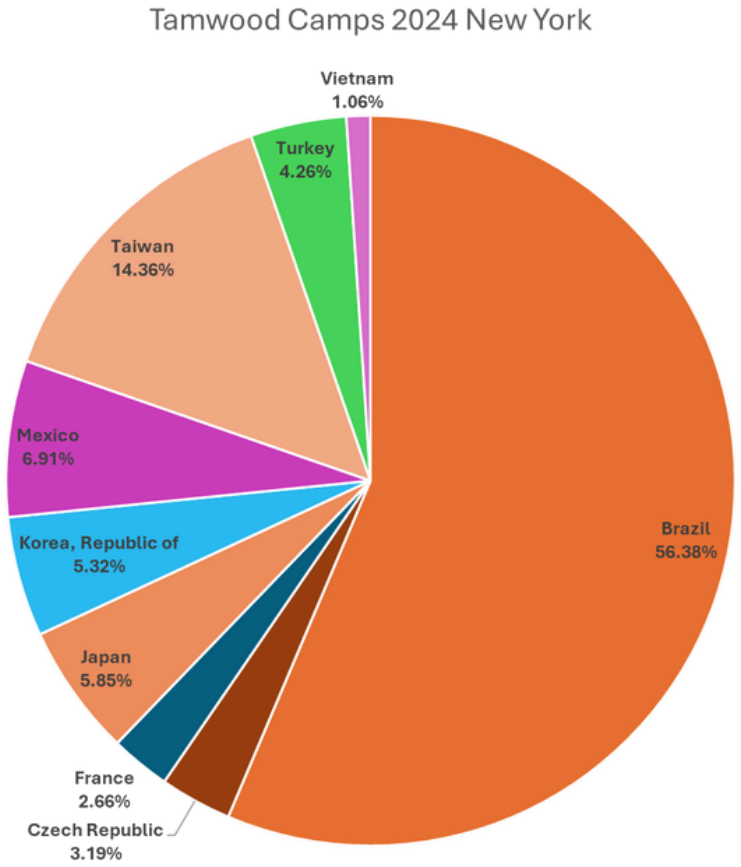



※ひと夏の国籍比率です。週ごとに国籍比率は変動します。

## トロント・UTM

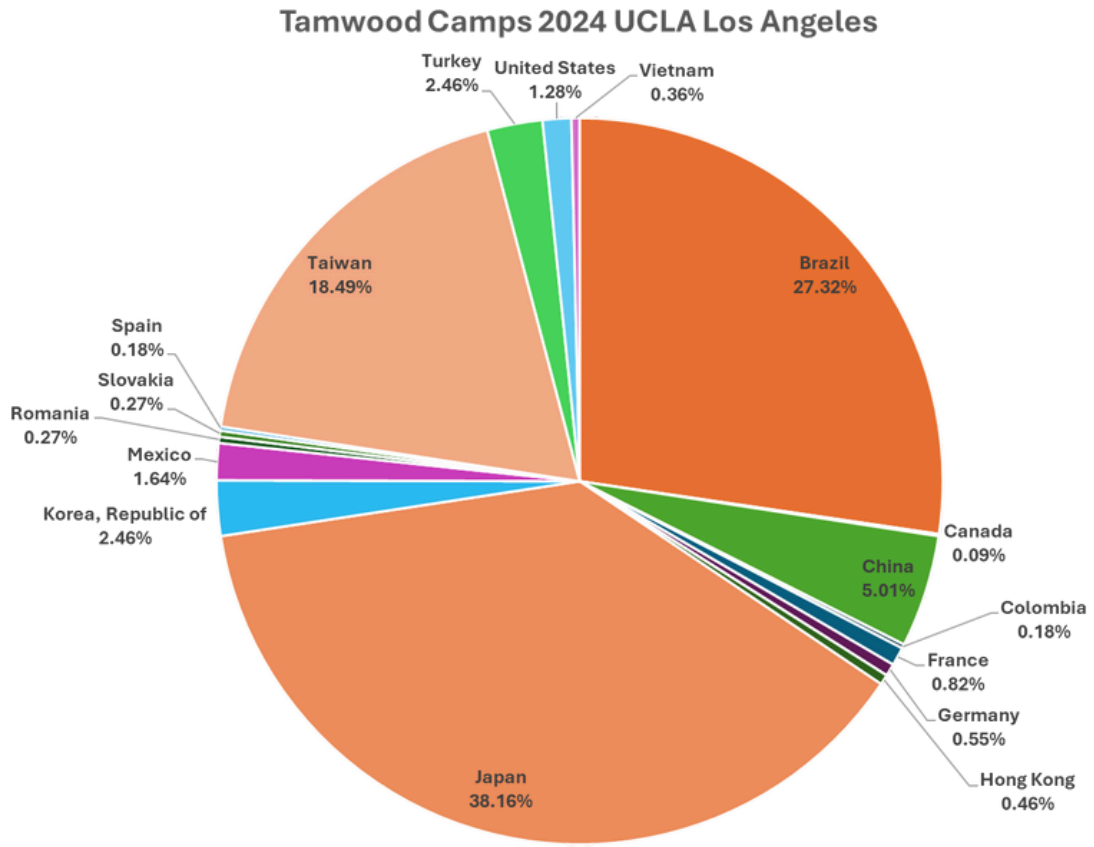



## ニューヨーク・Fordham

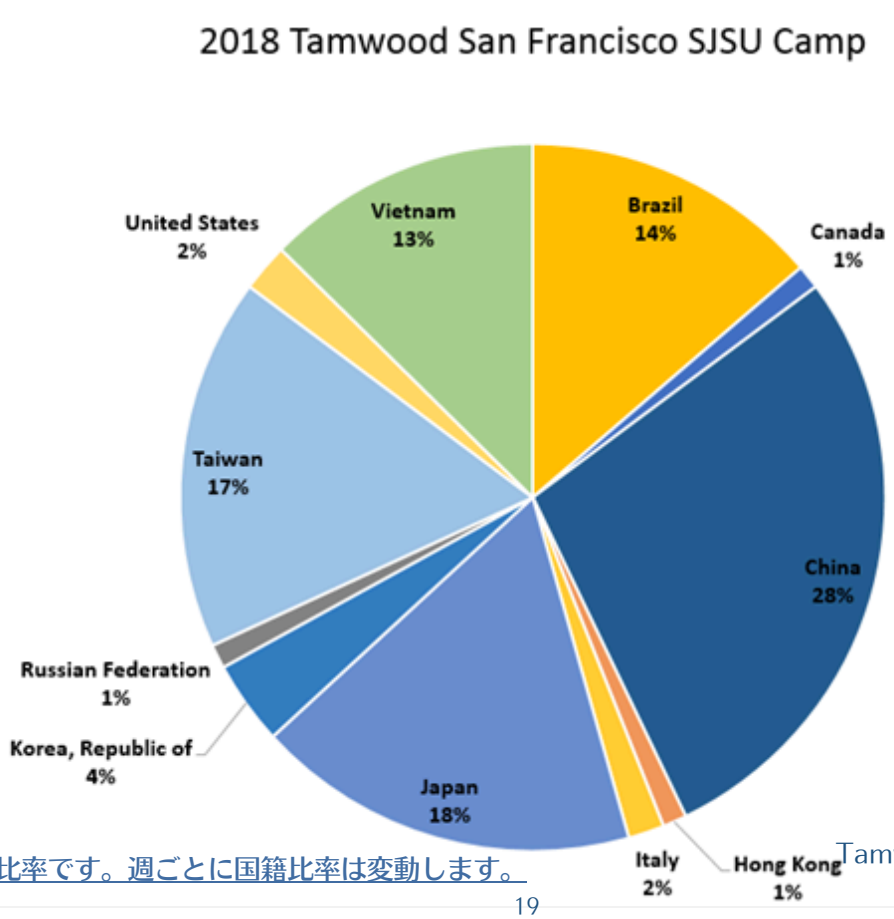



※ひと夏の国籍比率です。週ごとに国籍比率は変動します。

## ロスアンゼルス・UCLA




## サンフランシスコ 2018年 (再開のため前年データではありません)




※ひと夏の国籍比率です。週ごとに国籍比率は変動します。